



インターネットでの情報提供			
提供予定日		10月13日(日)	
平成25年10月12日(土) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
国際戦略推進課	総括管理監	高橋 洋子	直通 058-272-8173 内線 2351

「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」

知事の海外訪問(インドネシア、シンガポール、タイ、台湾)について(1)

本県では、平成21年度より、官民が協働し主に成長著しいアジアをターゲットとして「観光・食・モノ」を一体化した総合的な岐阜県PRを展開し、海外誘客と県産品の輸出向上につなげる「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を推進しています。

この取組みの一環として、知事が民間事業者と共に、インドネシア、シンガポール、タイ、台湾の4ヶ国・地域を現在訪問していますので、その活動状況を下記のとおりお知らせします。

記

【日 程】 平成25年10月11日(金)～18日(金) 8日間

【目 的】 観光誘客、県産品・農産物輸出の促進

【主な内容(知事日程)】

<インドネシア>

- ・在インドネシア日本国大使公邸における岐阜県交流会開催(観光、県農産物および地場産品紹介)
- ・インドネシアで初開催の観光見本市「ジャパン・トラベル・フェア」参加
- ・著名デザイナーと現地旅行会社が主催する岐阜県PRイベントに出席

<シンガポール>

- ・飛騨牛海外推奨店認定式(高級日本食レストラン「^{きしよ}葵匠 Ki-sho」)
- ・格安航空会社AirAsiaとオンライン旅行会社Expediaの合弁会社「AirAsiaExpedia」訪問

<タイ>

- ・高級ホテル日本食レストラン「きさら」での岐阜県・飛騨牛フェア開催
- ・県内からの進出企業関係者等との意見交換

<台湾>

- ・台湾旅行博「ITF」視察、観光事業者との面談
- ・台湾政府外交部との面談

【民間等からの参加者】

50名(農業・食品関係者、地場産品、蔵元関係者、観光事業関係者、市町村関係者、岐阜県議会議員など)

<10月11日（金） インドネシア>

■駐インドネシア共和国日本国大使との面談

○日時

10月11日（金） 17：20～17：50（現地時間）

○場所

在インドネシア共和国日本国大使公邸

○面談者

鹿取克章 駐インドネシア共和国日本国大使

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長
堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、足立能夫 全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員会会長
桑田博之 全国農業協同組合連合会岐阜県本部長、県国際戦略推進課長 等

○主な発言

〔大使〕

- ・インドネシアは水道、電気、鉄道、道路、下水道など、インフラが圧倒的に遅れている。ようやく地下鉄工事が始まったところ。
- ・酒の販売については、イスラム教徒が90%近いためうまく行う必要はあるが、中華系の富裕層などには好まれ、刺身や寿司といった日本料理にも合う。可能性はある。（今回の岐阜県交流会では、岐阜の蔵元2社の地酒を提供）
- ・インドネシア人はサイクリングを好む。
- ・新婚旅行で一か月間日本を回るインドネシア人もいる。旅館を好きになって帰ってくる人が多い。和風が好まれる。ただ、大衆で風呂に入ることには、まだ抵抗感がある。

〔知事〕

- ・サイクリングについては、「ツアー・オブ・ジャパン」という大会があり、岐阜県では美濃市が含まれている。インドネシア人に、岐阜県でもサイクリングを楽しんでいただけるはず。
- ・岐阜県には旅館も多く、岐阜市や高山、奥飛騨温泉郷、下呂など温泉も多い。雪も降り、インドネシア人に楽しんでいただける要素が多くある。
- ・岐阜県を訪れる外国人観光客は、台湾が一番多い。タイが急増しており、シンガポールも増加している。

■岐阜県交流会の開催

○日時

10月11日（金） 19：00～21：30（現地時間）

○場所

在インドネシア共和国日本国大使公邸

○主催者

在インドネシア共和国日本国大使館、岐阜県

○出席者

125名 ＊メディアは、テレビ、新聞、雑誌、インターネットメディア等12社

◇インドネシア関係者（88名）

インドネシア政官・経済界、旅行業関係者、メディア関係者、その他現地著名人、ジャカルタ岐阜県人会、日系企業、日本の公的機関現地事務所関係者、大使館関係者 等

◇岐阜県関係者（37名）

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、野島征夫 県議、水野正敏 県議、村上孝志 県議本部運営委員会会長、桑田博之 全国農業協同組合連合会岐阜県本部長、加藤孝義 岐阜県園芸特

産振興会花き部会長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長、野尻辰彦 穂高荘ホテルズ・リゾート会長、野尻登志子 穂高荘ホテルズ・リゾート社長、浅野雅己 浅野燃糸(株)社長、浅野真美 浅野燃糸(株)専務取締役、堀田茂樹(有)レイク・ルイズ社長 神野達雄
JETRO岐阜貿易情報センター所長、県農政部長、県観光交流推進局顧問、県地域産業課長 県国際戦略推進課長 等

○行事について

- ・インドネシアでの岐阜県の知名度向上を図り、本県への観光誘客と地場産品等の販路開拓につなげるため、現地の旅行会社等旅行業関係者、政府要人、メディア、著名人等を招待して、岐阜県と在インドネシア共和国日本国大使館の共催による「岐阜県交流会」を盛大に開催した。
- ・交流会では、県産農産物（早秋柿、飛騨りんご）や食品（米で作られた麺、黒にんにく）の提供、インドネシア食材を使用した県郷土料理（けいちゃん、御嵩華寿司）の紹介と地酒の提供、美濃和紙（雪の結晶をモチーフとした製品、水うちわ、和傘、灯り、バッグ、靴等）、陶磁器、木工（升、小物品）、刃物（爪切、包丁、はさみ等）、繊維（タオル、郡上本染め）など地場産品を使った会場装飾・展示の実施、県内市町村の観光ポスターやパンフレットを用いた観光地の紹介、及び県内観光地を紹介するDVD上映等により、岐阜県が誇る様々な魅力を、一体的に演出しPRを実施した。
- ・知事をはじめ、県側出席者が、それぞれの声で岐阜県の魅力をインドネシアの要人やメディア等にアピールしながら、観光誘客と県産品の販路開拓に向けたネットワーキング（人脈作り）も精力的に展開した。

○概要

- ・鹿取大使のインドネシア語による挨拶に続き、知事が挨拶。知事は、岐阜の特徴や様々な魅力について紹介した。
- ・続いて、鹿取大使が、岐阜県が官民の連携により持ち込んだ展示物や農産物、食品等について、一つひとつ丁寧に説明した。
- ・その後、岐阜県を訪れたことのあるインドネシアの若手女優と著名ファッションデザイナーの2名が岐阜県の印象や感想を披露し、歓談を開始
- ・歓談中、会場では、インドネシアのTV制作会社が今年1月に本県を取材・撮影し、2月と3月に放映した、日本を紹介する初の本格的なTV番組、「KokoroNoTomo（心の友）」のダイジェスト版を上映した（インドネシアの若手女優は当番組に出演）

○メディア取材

- ・知事に対してメディア各社から次々とインタビューの申し込みがあり、知事は各社の質問の一つひとつ丁寧に答えながら、岐阜県の魅力をPRした。

◇メディアからの質問例

- ・プロモーションの目的
- ・地場産品や観光資源等の具体例とアピールポイント
- ・岐阜県にインドネシアからの観光客を呼び込むための課題
- ・姉妹都市提携など、自治体交流の可能性

○主な発言

[大使挨拶]

- ・岐阜県から多くの人においでいただき大変うれしい。一度で終わることなく、今後もこのような取り組みが続くことを希望している。

[知事挨拶]

- ・鹿取大使とは10年前に同僚だった。10年経ってこのような形でお世話になることができ、嬉しい限り。

- ・岐阜県は日本のまん真ん中にあり、本物の日本に触れることができる素晴らしいところ。3000m級の山々から海拔0m地帯まで、多彩な自然環境に恵まれている。
- ・食では、果物や野菜、肉、また地場産品では和紙、陶磁器、刃物、木工など、モノづくりがとても盛ん。今日は、岐阜の素晴らしさを肌で感じ、胃袋で存分に味わっていただきたい。
- ・インドネシアは、現在、政治的に安定し、持続的な経済成長も続けており、近い将来、間違いなく世界のリーダーの一角を占めると思う。
- ・東日本大震災の後には日本への支援をいち早く実施いただき感謝している。
- ・今宵、当交流会を通じ、岐阜の大ファンになっていただき、次は岐阜県においていただきたい。この交流会が、岐阜県とインドネシアの大交流の素晴らしいスタートになることを願っている。

[若手女優の発言]

- ・1月に岐阜県を訪問した。これまで日本を何度も訪問しているが、一番印象に残っている場所が岐阜県。本当に素晴らしく、とても魅力的な場所
- ・まだ訪問していない人は、絶対に訪れるべきところとして強力に推薦する。岐阜への訪問は、皆さんの人生において特別なものになるはず。

[著名ファッションデザイナーの発言]

- ・三角屋根の合掌造りのポスターを見て岐阜県のことを知り、先の4月に訪問した。夢のような体験だった。
- ・訪問先では、いろいろな国の人々と出会ったが、インドネシア人には出会わなかった。もっとインドネシア人に岐阜県をPRすべき。

[インドネシア関係者からの主な発言]

- ・包丁については、調理師を育成している大学に使うよう働きかけるとよい。卒業生が就職した際、馴染みのある包丁を使いたいと思うはず。(キッチンコンサルタント)
- ・柿については、大きくおいしいものはインドネシアにはない。中身がしっかりしており、甘くて素晴らしい。(持ち帰り希望者が多かった)
- ・((有)レイク・ルイズのベー麺について) インドネシアで必ずヒットすると確信。インドネシアで販売したいので、日本へ帰国したら会社概要等を早急に送ってほしい。材料のインドネシアへの輸出は難しいと思われるが、全く問題はない(食品輸入会社)
→早速、詳細交渉を開始することで合意
- ・(浅野撚糸(株)の高品質タオルについて) 高い値段で販売しても必ず売れる商品(日系大手商社)
- ・今まで参加したレセプションの中で、今回が一番良かった。様々な見せ方や要素がうまく取り入れられており、素晴らしいと思った(大手日系航空会社)
- ・地元岐阜について知っているつもりだったが、まだまだ自分も知らない魅力的なものが多くあることを認識した。(ジャカルタ岐阜県人会)
- ・岐阜県をすぐに訪問し取材したい。(TV会社)

■ (参考情報) 岐阜県観光セミナー・商談会の開催

○日時

10月11日(金) 14:00~17:00(現地時間)

*知事がジャカルタ入りする前に開始したため、知事は不参加

○場所

アリア・ホテル

○主催者

岐阜県

○参加者

インドネシアの旅行会社 30社約50名

○内容

◇セミナー

- ・岐阜県の観光について、県及び参加9市町からのプレゼンテーション
- ・前述のTV番組「KokoroNoTomo（心の友）」の番組制作プロデューサーと出演した若手女優が岐阜県への訪問について語るトークセッションの開催と同番組ダイジェスト版の上映

◇商談会

- ・9市町及びJNTOジャカルタ事務所による日本ブースを設け、旅行会社が各ブースを訪問。参加した民間事業者もブースで地域と自社についてPR

◇ラッキードロー

- ・参加市町の特産品等が参加者に当たる抽選会を実施（各地域の観光資源の一つであるモノの魅力をPR）

○会場の様子

- ・旅行会社は終始熱心に参加。商談会の終了時間を過ぎてもブースでの商談は継続し、岐阜県を旅行先として検討しようとする姿勢を感じることができ、参加市町の観光担当者や民間事業者も手応えがあった。



岐阜県交流会における知事スピーチ



岐阜県交流会



岐阜県観光セミナー